



未来へつなぐ、地域の「新設計図」

白川町 地域活動リデザイン支援交付金のご案内

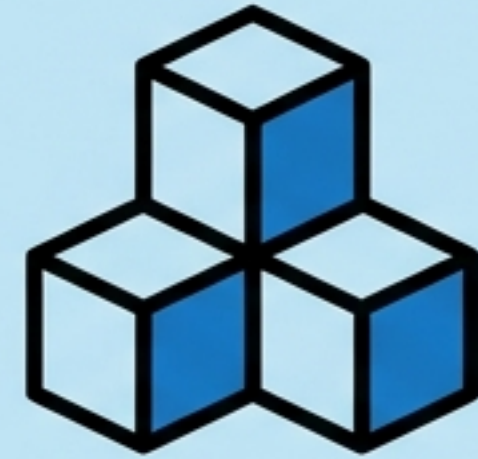
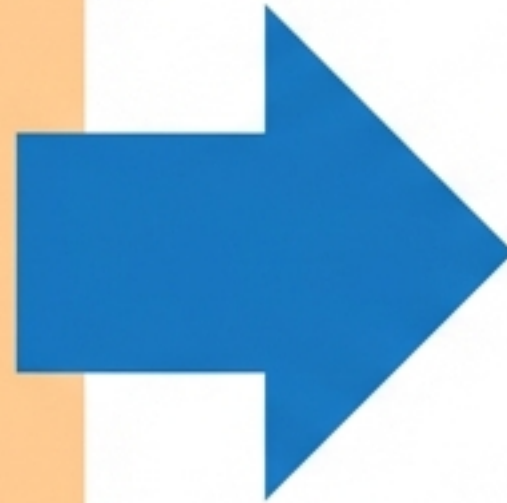
「無理なく、楽しく、ずっと住み続けられる地域」を共につくる

なぜ、いま地域の「再設計」が必要なのか？



地域の「いま」

- 人手不足の深刻化（人口減少と高齢化）
- 重なる負担（役員や行事が一部の世代に集中）
- 昔と同じ活動を続けるのが困難に



これからのカタチ

- 今の時代に合った形へ整える
- 次世代へ責任を持って引き継ぐ

「柔軟な最適化」～減らす・変える勇気を支援します

新しいことを増やすのではなく、「減らす・まとめる・やめる」ための活動です。



行事の棚卸し：

アンケートで「本当に必要なこと」を見極める

負担の軽減：

防災訓練と運動会を合わせるなど、密度を高め回数を減らす

体制の簡素化：

「1人何役」もこなす役職を統合し、手伝いやすい仕組みへ

焦らず、着実に。最大3カ年の伴走支援スキーム

1年目：現状を知る



- 外部講師を招いた話し合い
- 住民アンケートで「本音」を把握

2～3年目：試してみる



- 行事の統合や役職の整理を試験的に実施
- 将来の人口予測を見据えた成果検証

3年目：決める



- 地域全体で新しいルール・運営方針を明文化
- 住民の合意形成を図る

地域を支える強力なバックアップ（財政支援）



費用の**100%**補助

- 3カ年合計で 最大100万円
- 1年度50万円以下
- 対象経費：講師謝礼、視察旅費、アンケート印刷代、会場借上料など



安心の「返還不要」ルール

- 最終的な運営組織が立ち上がらなくても、補助金の返還は不要です。
- 「話し合いのプロセスの記録」そのものを価値として町が活用します。

地域の「幸福度」を上げるために、共に歩みます



役場は、単なる「お金の出し手」ではありません。
皆様に寄り添う「パートナー」として、活動を記録し、全力で伴走します。

「これなら無理なく関われる」
「地域活動が少し楽しくなった」
そんな声が聞こえる白川町を、共に作りましょう。